

16 へき地教育

へき地・山間地学校の学習指導を改善・充実し、へき地教育の振興を図ることを目的として次のことに重点をおいて事業を行った。

- ア へき地・山間地における児童・生徒の学力の充実を図る。
- イ へき地・山間地の特性を生かした学校・学級経営及び学習指導の研究を深め、教師の指導力の向上を図る。
- ウ 長野県へき地教育振興協議会を支援し、広域的に本県へき地教育の振興を図る。

(1) 長野県へき地教育振興協議会

へき地・山間地の少人数学級の学級経営及び学習指導の成果や諸問題について、また、今後のこの会の運営のあり方について検討した。

期日・会場 令和3年7月16日(金)

王滝村立王滝小中学校(オンライン併用型)

(2) 教育支援

- ア 指導主事の学校訪問の際に、平成27年度に配布した山間小規模校の教員の悩みや課題の解消に向けた手引き「少人数学級における指導の充実 ～小規模・少人数の利点を生かして～」を活用して支援した。
- イ 長野県教育委員会HPで公表している「中山間地域発新たな学び Sign Post Book」を用いて助言し、ICTを活用した学びについても支援している。
- ウ 山間小規模校の中から、小学校4校、中学校1校を学びの改革実践校として指定し、単元内自由進度学習、異学年合同の学びなど、少人数ならではの学びの研究を行い、県内に発信している。

17 定通教育

高等学校の定時制・通信制は、働きながら学ぶ青少年に高等学校の教育を受ける機会を与えるものとして設置されてきた。しかし、近年は不登校傾向の生徒や全日制からの転編入生が増加し、多様な学びの場としての重要度が増してきている。それに伴い、学習指導・生徒指導上の諸問題への対応とともに、多部制・単位制をはじめとする制度などの研究及び活用が課題となっている。